213T-cover-00 03.5.7 2:40 PM Page B

SAMSUNG

TFT-LCDモニター 取扱説明書

SyncMaster 213T

よりよい画面を見るためには

1.最高の画質をお楽しみいただくために コンピューターのコントロールパネルで解像度と走査率を下記のように合わせて下さい。
TFT液晶ディスプレーは最適の解像度でない場合 画質が均等にならないことがあります。

- 解像度： 1600 × 1200
- 垂直周波数： 60 Hz

2. 本製品は99.999%以上の精密度を持つ 最先端半導体の技術で製造されたTFT液晶ディスプレーパネルを使用致しております。
しかし 時々 赤、緑、青、白等のピクセルが明るく光って見えたり、黒のピクセルが何個か見えることがありますが、これは不良製品ではありませんので 安心してご使用下さい。
- 参考に 本製品に適用したTFT液晶ディスプレーのピクセルは 3,932,160 個です。

3. モニターをクリーニングする時は、乾いた柔らかい布にお水または中性洗剤を少量つけて拭いて下さい。
液晶の表示部の場合には 力を入れないで軽くこすって下さい。強すぎる力が加わった場合、染みができることがあります。

4. 画質が満足できない場合には、Windows終了ボタンを押して出てくる画面の状態で“AUTO ADJUSTMENT”(自動調整)機能を実行させると より良い画質を現すことができます。
自動調整した後にもノイズが発生する場合には、微細調整(FINE/COARSE)をして下さい。

5. 長時間固定された画面状態でお使いになる場合、画面に残像または染みがついているように見える症状が生じることもあります。なお、モニターを長い時間つけぱなして置く時には節電モードまたはスクリーンセーバーなどを動画像モードに設定してお使いになってください。

■ ご注意

- 本取扱説明書の無断複製を禁止します。
- 本取扱説明書の内容は、お客様に予告なく変更される場合があります。

Copyright ©2003 Samsung Electronics Co., Ltd

■ 商標・登録商標について

- 当社の口ゴと本製品名「SyncMaster」は、Samsung Electronics Co., Ltd.の登録商標です。
- VESA®、DPMS、DDCはVideo Electronics Standard Associationの登録商標です。
- ENERGY STARの名前と口ゴはU.S. Environmental Protection Agency(EPA)の登録商標です。本製品はENERGY STARの参加事業者として、ENERGY STARの省エネルギー促進のガイドラインを満たしています。
- 各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

目次

安全にご使用していただくために 2

準備 6

同梱物の確認 6

各部の名称とはたらき 7

セットアップ 9

モニタードライバのインストール 10

調整/設定 14

OSDについて 14

OSDの操作のしかた 14

各調整/設定について 16

液晶モニターの調整/設定 16

画像の調整 18

OSDの設整 21

ソース選択 22

付録 23

節電機能(Power Saver) 23

画面モード 24

VCCIについて 24

アームを取り付けるには 25

困ったときは 27

仕様 30

ピン配列 31

Natural color 33

アフターサービス 41

索引 42

安全にご使用していただくために

ご使用の前に「安全にご使用していただくために」を必ず読み、よく理解して安全にご使用ください。

本書中のマークの説明

⚠ 警 告	この表示の欄は、守らなかった場合に死亡または重傷を負う可能性のある内容です。
⚠ 注 意	この表示の欄は、守らなかった場合にけがや物的な損害を受ける可能性のある内容です。
⃠	禁止の行為を表しています。 例えば ⃠ は「分解禁止」を表します。
●	必要な行為を表しています。 例えば ❗ は「必ず行う」を表します。

⚠ 警 告

電源コードについて

取り扱いを誤ると電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工する、無理にねじ曲げる、束ねて結ぶ、引っ張る、重いものを上に載せるなどの行為をしない。
- 濡れた手で電源プラグを触らない。
- 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜く。
- 電源コードの表面のビニールが溶けるのを防ぐため、電源コードに熱機器を近づけない。

取り扱いについてのご注意

水や異物などを入れない

火災や感電の原因となります。

- 風呂場や水辺、雨天時の野外など、本製品に水がかかるような場所では使用しない。
- 本製品の通風孔から金属類や燃えやすいものを内部に差し込んだりしない。
- 本製品に水や異物などが入るのを防ぐため、本製品の上に水の入った容器や植木鉢、化粧品、薬、小さな金属類（安全ピン、ヘアピンなど）を置かない。

213T-cover-00 03.5.7 2:40 PM Page3

分解しない

電気ショートや感電の原因になります。

- 内部には電圧の高い部分があるので、キャビネットを開けて分解しない。
- お客様ご自身で修理、点検や改造をしない。

異常がある場合は

次の場合は、直ちに電源を切ってから電源プラグをコンセントから抜いてください。その後「お客様ご相談ダイヤル」に修理をご依頼ください。そのまま使いつづけると、火災や感電、けがの原因となります。

- 異常な音がする、変なにおいがする、煙が出ている。
- 電源コードが傷ついた（芯線の露出、断線など）。
- 本製品に水をこぼした、または内部に異物が入った。
- 本製品を落とした、またはキャビネットを破損した。

⚠注 意

設置場所について

次のような場所には置かないでください。機器の落下によるけがや故障、または内部温度の上昇による発火やけが、感電などの原因となることがあります。

- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところ。
- 湿気やほこりの多いところ。水場に近いところ。
- 暖房機器のそばなど、高温になるところ。
- 直射日光のあたるところ。
- 風通しの悪い狭いところ。
- 磁石やスピーカーなどの磁力を発生する機器が近くにあるところ。

設置のしかたについて

次のような置きかたをしないでください。機器の故障、または内部温度の上昇による発火やけが、感電などの原因になることがあります。

- 通風孔をふさいでしまい、内部の温度が上昇してしまうような狭いところに置く。
- 仰向けや横倒しに置く。
- じゅうたんの上や布団のような柔らかいものの上に置く。

213T-cover-00 03.5.7 2:40 PM Page4

液晶画面について

次の点にご注意ください。けがや感電、物損事故の原因となることがあります。

- 液晶画面を強く押したり、硬いもので触ったりしない。
- 液晶画面に衝撃を与えない。

電源プラグをコンセントから抜く

次の場合は、火災や感電など思わぬ事故を防ぐため、電源プラグをコンセントから抜きます。

- お手入れをする場合。
- 本製品を移動させる場合。
- 旅行などでしばらく使わない場合。

接続するときは

次の点にご注意ください。けがや感電の原因となることがあります。

- 接続するときは電源を切り、取扱説明書に従って正しく接続する。
- 外部オーディオ機器や市販のケーブルを使用する場合は、接続する前にこれらの取扱説明書も読む。

移動するときは

次の点にご注意ください。けがや感電、物損事故の原因となることがあります。

- 電源ケーブルをコンセントから抜き、接続コードを取り外す。

213T-cover-00 03.5.7 2:40 PM Page5

お手入れするときは

次の点にご注意ください。けがや感電、物損事故の原因となることがあります。

- 液晶の表面を清掃するときは、まず電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布で乾拭きする。
- キャビネットを清掃するときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布などで乾拭きする。汚れがひどい場合は、布をいったん中性洗剤を薄めた水に浸し、かたく絞ってから拭き取る。その後、再度乾いた布などで乾拭きする。
- 誤って本製品に水がかかってしまった場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布で水分を拭き取る。その後、十分に乾かしてから、電源プラグをコンセントに差し込む。

長期間安心ご使用していただくために、年に１回程度の清掃を「お客様ご相談ダイヤル」にご依頼ください。

準 備

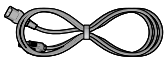
■ 同梱物の確認

このたびは、当社液晶モニター(213T)をお買い求めいただきありがとうございます。お使いいただく前に、以下の付属品が揃っているかご確認ください。万一不足しているものがあった場合は、おそれいりますが、41ページの「お客様ご相談ダイヤル」にご連絡ください。

取扱説明書（本書）

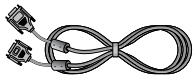
液晶モニター

保証書
（日本国内においてのみ有効となります。）



電源コード

D-Sub15ピン信号ケーブル



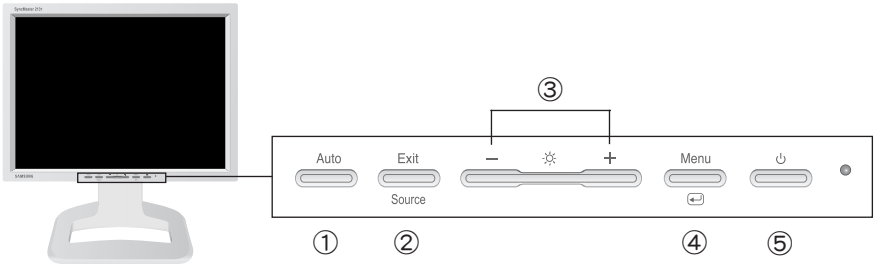
DVIケーブル

カラーユーティリティー
＆インストールドライバ

PIVOT インストール CD

■ 各部の名称とはたらき

フロントパネル



① Auto(オート)

■ 受信したビデオ信号に応じてモニターが自動調整されます。
■ 粗調整、微調整、位置が自動的に調整されます。

② Exit/Source(終了/ビデオ信号)

■ OSD(P. 14「OSDについて」参照)を終了します。
■ OSDが画面にない時はビデオ信号(アナログ/デジタル)を選択します。
■ OSDが表示されない状態でソースボタンを押すと画面には「アナログ」または「デジタル」と表示されます。
■ ビデオ入力信号を変更するためにソースボタンを押す時またはモニターの電源を入れた時モニターの画面の中央部分に現在のビデオ入力信号のソースが「アナログ」または「デジタル」と表示されます。

注意 ・デジタルモードを選択するにはデジタルポートを持ったビデオアダプターにDVIケーブルを接続してください。

③ ー,+/ ☼

■ OSD内の強調表示を左右に移動します。
■ 選択した機能の数値を変更します。
■ OSDが画面にないときは、"+"または"−"ボタンを押して明るさを調整します。

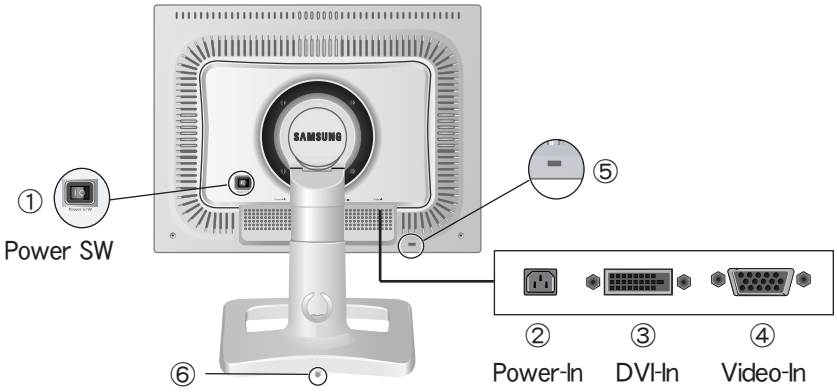
④ Menu(メニュー)

■ OSD(P. 14「OSDについて」参照)を開きます。

⑤ Power(電源)/電源ランプ

■ 液晶モニターの電源をオン/オフします。
■ 液晶モニターの状態を示します。
- 緑色点灯：通常の状態です。
- 緑色点滅：節電モードになっている、または信号ケーブルがはずれています。

背面



① メカニカルスイッチ(Power SW)

- メイン電源を遮断します。
- メイン電源スイッチを"O"にすると、消費電力が 0(Zero)になります。

② 電源端子(Power-In)

- 電源コードを接続します。

③ Digital(デジタル)信号端子(DVI-In)

- DVIケーブルを接続します。

④ Analog(アナログ)信号端子(Video-In)

- 15Pin D-Sub信号ケーブルを接続します。

⑤ ケンジントン(Kensington)保護スロット

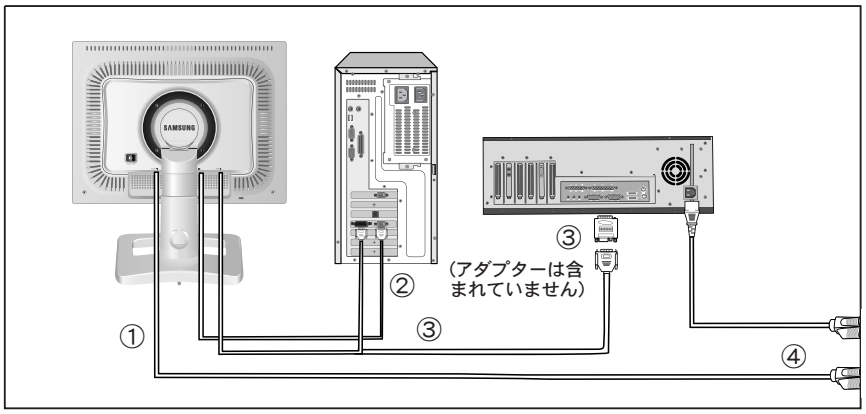
- 盗難防止などの保護ができます。(ロック器具は含まれていません)。

⑥ ロック・リリースボタン

- スタンドの高さを固定します。

■ セットアップ

液晶モニターのセットアップ



① 電源コードをモニターの背面にある電源端子に接続する。

② Digital(デジタル)信号ケーブル(DVIケーブル)

■ 信号ケーブルをコンピュータのDVI端子とモニターのDVI-In端子に接続します。

③ Analog(アナログ)信号ケーブル(D-Sub15ピン信号ケーブル)

■ 信号ケーブルをコンピュータのビデオ端子(ビデオボード、ビデオカード、またはグラフィックカード)に接続します。
G3以前マックのコンピュータをお使いの場合は、マックのアダプターに接続します。そしてアダプターのピンを設定します(アダプターは含まれていません)。

■ コンピューターにつないだ信号ケーブルをモニターのD-SUBコネクターに接続します。

■ IBM互換コンピュータにはアダプターが必要ありません。

④ コンピューターと液晶モニターの電源を入れる。
画面が表示されたら適切に設定されたことになります。

注意 ・1台のコンピューターに15ピン D-subケーブルとDVIケーブルを同時に接続した場合、ビデオアダプターの種類によっては画面に何も表示されない場合もあります。

・DVIケーブルを接続した時、画面が表示されなかったり薄ら画面が表示される場合、モニターの信号ソースがアナログーなのか確認してください。またソース選択を押してデジタルに変更してください。

⑤ フロントパネルの**Auto**ボタンを押し、画面の自動調整を行う。

注意・画面が映り、モニタードライバーの選択メッセージが表示されたら、システム内にあるドライバーを検索してください。本製品に最適のドライバーがない場合は、付属のCD-ROMを使ってコンピューターにインストールしてください。ドライバーのインストール方法については、CD-ROMのパッケージをご覧ください。

■ モニタードライバのインストール

OSの誘導に従い、このモニターに含まれているCD-ROMを差し込みます。ドライバのインストールが下記とは違う場合、ご利用のOSに伴い設定してください。

Windows XP

自動設置

1. CDを該当するドライブ(D:)に挿入してください。
2. CD-ROM ディスクは自動的に実行されます。万が一自動的に実行されないときは D: ドライブにある Setup.exe ファイルをダブルクリックしてください。
3. Monitor Driver Installationをクリックしてください。
4. モデル一覧からモニターモデルを選択した後、 **"OK"** ボタンをクリックしてください。
5. **"警告"** の窓にある **"設定"** ボタンをクリックしてください。
6. **"メッセージ"** の窓が下のように表れたら、**"継続"** ボタンをクリックしてください。(モニタードライバはMS ロゴ 認証を受けてあり、この設置作業はあなたの運営システムに損傷をあたえません。) その次に **"OK"** ボタンをクリックしてください。認証されたドライバは サムスンモニターホームページで見ることができます。
   http://www.samsungelectronics.com
7. モニタードライバーの設定が完了されました。

手動設置

1. CDを該当するドライブ(D:)に挿入してください。
2. **"スタート"** → **"コントロールパネル"** そして **"ディスクトップテーマ"** アイコンなどを順番にクリックしてください。
3. **"画面"**をクリックした次に**"設定"**タップ, そして **"詳細"**をクリックしてください。

4 **"モニター"**タップの**"登録情報"** ボタンをクリックした次に**"ドライバ"**タップを選択してください。

5 **"ドライバアップデーター"**をクリックした次に**"一覧から設置"** そして **"次へ"** ボタンをクリックしてください。

6 **"検索しない、自分で ..."**を選択して **"次へ"** そして **"ディスク使用"**をクリックしてください。

7 **"ブラウザー"** ボタンをクリックして D: Driverを選択した次にモデル目録で、あなたのモデルを選択し **"次へ"** ボタンをクリックしてください。

8 **"メッセージ"** の窓が下のように表れたら**"継続"** ボタンをクリックしてください。(モニタードライバは MS ロゴ認証を受けてあり、この設置作業はあなたの運営システムに損傷をあたえません。)その次に **"完了"** ボタンをクリックしてください。

認証されたドライバは サムスンモニターホームページで見ることができます。

http://www.samsungelectronics.com

9 **"閉じる"**ボタンをクリックした次に **"OK"** ボタンをクリックしてください。

10 モニタードライバの設置が完了されました。

Windows® 2000

1 Windows®2000 は新しいモニターを検出し、ドライバがインストールされていない場合、「新しいハードウェアをインストールする」というウィザードがスタートします。**"次へ(NEXT)"**をクリックするとドライバの検出を行います。

2 モニターのドライバをどのディスクドライブボックスからインストールするか選択して **"次へ(NEXT)"** をクリックします。

3 Windowsがドライバをディスク上から検出したことをチェックし、**"次へ(NEXT)"** をクリックしてインストールを行います。

手作業でインストールする場合や、新しいドライバをインストールする場合は、下記の通りに行って下さい。

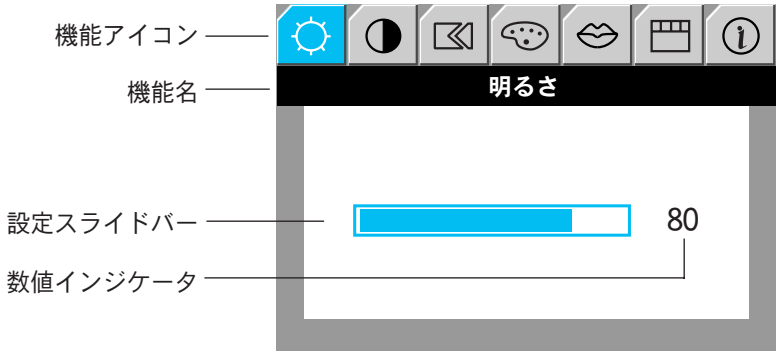
1 **スタート、設定、コントロールパネル、画面の設定のタブ、詳細、モニターのタブの変更**をクリックします。そうすると「新しいハードウェアをインストールする」というウィザードがスタートします。

2 表示されるステップに従って操作します。

調整/設定

■ OSDについて

OSD(オンスクリーンディスプレイ)とは、液晶モニターを調整/設定するための画面です。フロントパネルで操作ができます。



■ OSDの操作のしかた

1. Menuを押す。OSDが表示されます。
2. [+][−]でアイコンを選択する。選択されているアイコンが強調表示されます。
3. 再度Menuを押す。選択されたアイコンが決定され、サブメニュー画面が表示されます。
4. [+][−]で各機能のサブメニューの項目を選択する。
5. Menuを押して、[+][−]でサブメニューで選択した項目の調整/設定をする。

注意 ・調整/設定はMenuを押すことで決定しますが、機能によってはMenuを押さずに手順6へ進みます。

6 OSDを画面上から消す場合は、 Exit を押す。

注意 ・機能によっては、機能メニュー内にサブメニューがあります。サブメニューからOSDを消すときなど表示状態によって、 Exit を押す回数が変わります。

注意 ・OSDから各機能の設定を変更して約５秒以上 Menu を押さないと、自動的に変更した内容が保存されます。(OSDが自動的に画面から消えます)。

・OSDが画面に表示されてないときに Menu を５秒押し続けると、設定内容を変更できないように固定することができます。ただし、明るさ(Brightness)、コントラスト(Contrast)変更は可能です。再度 Menu を５秒以上押し続けると固定を解除できます。固定されたときはOSDの機能アイコンの中に 明るさ(Brightness)とコントラスト(Contrast)とインフォメーションを除いたすべてOSDメニュー画面の下に“ロック！”というメッセージが表示されます。

■ 各調整/設定について

各調整/設定の操作説明は、フロントパネルに対応しています。カッコで囲まれた操作説明は、フロントパネルを使った別の操作方法を示しています。

注意 ・2時間以上電源を切っていた場合は、電源を入れて20分後から調整を行ってください。

操作の見かた

Menu マーク ：メニューボタンを押します。

アイコンマーク ：OSD内に表示されます。フロントパネルの[+][−]で選択し、メニューボタンを押すことで決定します。

□ マーク ：選択したアイコンの設定バーに表示される選択項目(サブメニュー)です。再度メニューボタンを押した後[+][−]で選択し、メニューボタンを押すことで決定します（機能によってはメニューボタンを押さずに、Exitボタンを押してOSD画面を消すと決定します)。

■ 液晶モニターの調整/設定

画像の調整を自動で行う

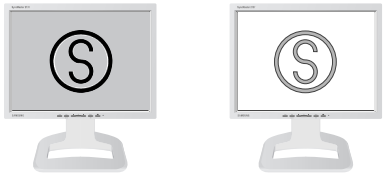
操作 Auto

注意 ・自動調整が自動的に画像調整を設定しても、ビデオボード性能によって最適化されない場合があります。自動調整を実行した後、OSDを実行し画像を再設定してください。

・この機能はDigital(デジタル)信号入力では調整できません。

画像を明るくする(暗くする)

操作 Menu ➡ ☼



注意 ・OSDが画面にないときは、＋または－ボタンを押して明るさを調整します。

画像の輪郭をはっきりさせる

操作 Menu ➡ ◑

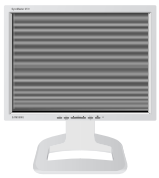
画像の調整

画像のノイズを取り除く

操作 Menu ➡ ⊠ ➡ 微調整/粗調整

注意・微調整が正しく調整できないときは、最初に 粗調整を行い、その後 微調整を行ってください。
⊠を行うと、画像の横幅が変更されることがあります。
その場合は、◁▷ を使用して画像を中央に移動させてください。(つぎの「画像を横軸方向に移動する」参照)。

粗調整が悪い画面

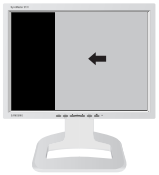


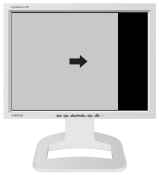
微調整が悪い画面

注意・**この機能はDigital(デジタル)信号入力では調整できません。**

画像を横軸方向に移動する

操作 Menu ➡ ⊠ ➡ H-ポジション





注意・**この機能はDigital(デジタル)信号入力では調整できません。**

画像を縦軸方向に移動する

操作 Menu ➡ ⏪ ➡ V-ポジション

注意 ・この機能はDigital(デジタル)信号入力では調整できません。

画像に効果(シャープにする/ぼやかす)を加える

操作 Menu ➡ ⏪ ➡ 画質選択

- ややあらい　画像を少しシャープにする。
- 普通　画像をややあらいとややソフトの中間くらいで調整する。
- ややソフト　画像をぼやかす。

画面の色を青みがかった白色にする

操作 Menu ➡ 🎨 ➡ 青色系

注意 ・この機能はDigital(デジタル)信号入力では調整できません。

画面の色を赤みがかった白色にする

操作 Menu ➡ 🎨 ➡ 赤色系

注意 ・この機能はDigital(デジタル)信号入力では調整できません。

画面の色をお客様の好みに調整する

操作 Menu ➡ ➡ ユーザーモード ➡ カラーコントロール

R：赤色を増加、減少します。
G：緑色を増加、減少します。
B：青色を増加、減少します。

注意 ・この機能はDigital(デジタル)信号入力では調整できません。

映像(VIDEO)信号による明るさ(ガンマ特性)を補整する。

操作 Menu ➡ ➡ GAMMA

1：LCD パネル固有のガンマ特性。
2：画面の明るい部分はもっと明るく、暗い部分はもっと暗くする。
3：画面全体を明るくする。

画面の色を工場出荷時の状態に戻す

操作 Menu ➡ ➡ 初期化

OSDの表示言語を変える

操作 Menu ➡

注意 ・言語は日本語, English(英語)から選択します。

OSDの設整

OSDの表示位置を変える

操作 Menu ➡ ▭ ➡ H-ポジション／V-ポジション

注意 ・ H-ポジションOSDの表示位置を横軸方向に移動する
V-ポジションOSDの表示位置を縦軸方向に移動する

OSDの背景を半透明にする

操作 Menu ➡ ▭ ➡ メニューハーフトーン

OSDの表示時間を変える

操作 Menu ➡ ▭ ➡ メニュー表示時間

[5/10/20/50/200]秒

OSDのメニューの色の濃さを変える

操作 Menu ➡ ▭ ➡ カラー

[1/2/3/4/5]

■ ソース選択(Source Select)

ビデオソース選択およびビデオ信号の情報を表示する

操作 Menu ➡ ⓘ ➡

例)

注意 ・自動：ビデオ信号をモニターが自動に選択する場合、選択してください。

・手動：ビデオ信号を手動に選択する場合、ソースボタンを押して選択してください。
（ビデオ信号を手動に選択した場合、ビデオケーブルをアナログからデジタルまたはデジタルからアナログに変更する時、画面に「接続を確認してください」とメッセ-ジが表示されたらソースボタンを押してビデオソースを変更してください。）

付録

■ 節電機能(Power Saver)

本製品は[Power Saver](パワーセーバー)と呼ばれる消費電力を管理する機能を搭載しており、コンピューターの電源設定をローパワーモード(省電力モード)にすることで使用できます。長時間操作をしない状態が続くと自動的に節電機能が働きます。本機能はコンピューターが「電源オン」、「節電モード」、「パワースイッチオフ」のモードのときに有効となります。「Power Saver」(パワーセーバー)はコンピューターにインストールされているVESA®ビデオカードのDPMS(Display Power Managerial Signaling)機能が働くと節電モードになります。この機能を設定するには、コンピューターにインストールされているソフトウェアを使用してください。詳細については以下の表1をご覧ください。

表1. 節電モード

状態	通常動作	節電モード (EPA/ENERGY2000)	パワースイッチオフ (120Vac)
電源ランプ	緑	緑点滅	黒
消費電力	75W(最大)	2W以下	0W

注意 ・節電モード中にコンピューターのマウスを動かしたり、キーボードのキーを押したりすると、節電モードからノーマルモードに切り換わります。
本機はEPA ENERGY STAR®とENERGY2000に対応しています。節電のため、長時間使用しないときは液晶モニターの電源をオフにしてください。

■ 画面モード

リストは、製造時に最適化されたスクリーンイメージです。

表2. プリセットタイミングモード

モード	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセルクロック (MHz)	同期極性 (H/V)
VGA	640X350	31.469	70.086	25.175	+/−
	640X480	31.469	59.940	25.175	−/−
	720X400	31.469	70.087	28.322	−/+
	640X480	37.500	75.000	31.500	−/−
	640X480	37.861	72.809	31.500	−/−
SVGA	800X600	35.156	56.250	36.000	+,−/+,−
	800X600	37.879	60.317	40.000	+/+
	800X600	46.875	75.000	49.500	+/+
	800X600	48.077	72.188	50.000	+/+
XGA	1024X768	48.363	60.004	65.000	−/−
	1024X768	56.476	70.069	75.000	−/−
	1024X768	60.023	75.029	78.750	+/+
WXGA	1280X1024	63,981	60.020	108.00	+/+
	1280X1024	79,976	75.025	135.00	+/+
	1600X1200	75,000	60.000	162.00	+/+
MAC	640X480	35.000	66.667	30.240	−/−
	832X624	49.726	74.551	57.284	−/−

■ VCCIについて

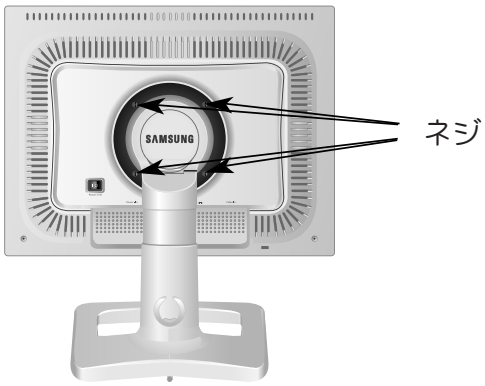
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

■ アームを取り付けるには

アームタイプのスタンドを取り付けることによって、空間を有効に利用しながら好きな位置で液晶モニターを使うことができます。VESA® 規格アームの使用をご希望の場合は、41ページの「お客様ご相談ダイヤル」にお問い合わせください。

スタンドを取り除く

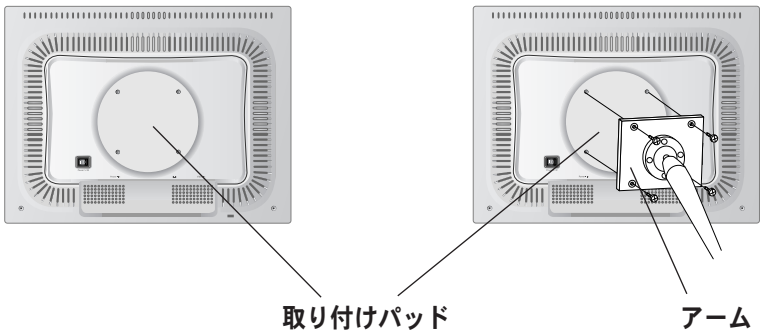
1. モニターを消し、電源コードを抜いてください。
2. 画面を保護するために安定した場所にクッションまたはやわらかい布などを敷き、図(①)のように画面を下にして液晶モニターを置く。
3. 四本のネジを外すと、LCDモニターからスタンドを取り除けます。



図①

注意 ・ **アーム取付及び壁掛けにつきましてはお客様の責任において行って下さい。万一事故が発生した場合でも当社はその責任を負いかねますのでご了承下さい。**

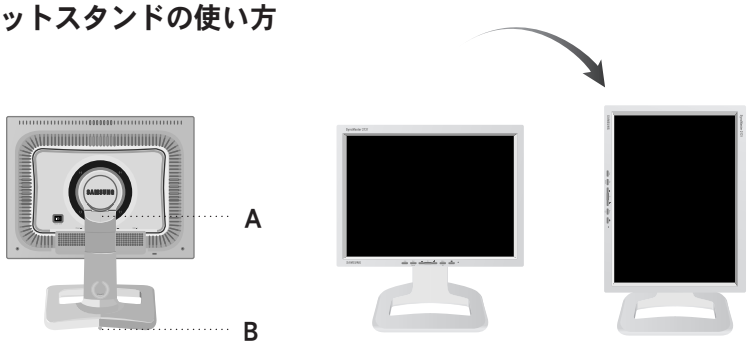
VESA® 規格のアームを取り付ける



1 アームの接続部分を、液晶モニター背面の取り付けパッドに合わせる。

2 アームに同梱されている４本のネジで、液晶モニターとアームの接続部分をしっかり固定する。

ピボットスタンドの使い方



1 スタンドを回転させるには、スタンドの上面(A部分)を軽く押しながらスタンドの背面にあるボタン(B部分)を押してピボットスタンドを上の方に完全に持ち上げた後、回転させてください。

注意 ・ 下に下がった状態で回転させますと破損する恐れが有ります。

困ったときは

表3. 画像関連

症状	対処	参照先
画面に何も表示されず、電源ランプが消えている	■電源コードが接続され、液晶モニターの電源がオンになっているかを確認してください。 ■電源がついてある場合 コンピューターを再起動して初期画面の状態を確認してください。 ・初期画面が現れたら、コンピューターを安全モードで起動してからビデオアダプターの周波数を変更してください。 ・初期画面が現れなかったらサービスセンターにご連絡ください。 ■DVI ケーブルを接続してからコンピューターの電源をいれてください。(DVI ケーブルを接続する前にコンピューターをつけたりほかのビデオアダプターを使って動作している途中 DVI ケーブルを接続した時)	セットアップ P.9 画面モードについて P.24 アフターサービス P.41
「接続を確認してください。」のメッセージが表示される。	■D−Sub ケーブルを使って接続した場合、信号ケーブルがコンピューターまたはモニターに接続されているかを確認してください。 ■DVI ケーブルを使って接続した場合、DVI ケーブルを接続しても画面にエラーメッセージが表示されるとソースボタンを押してDVI入力状態になっているか確認してください。	セットアップ P.9

表3. 画像関連(続き)

症状	対処	参照先
	■ コンピューターまたはモニターの電源がオンになっているかを確認してください	
「無効な入力信号です」のメッセージが表示される。	■ 最大解像度とビデオアダプターの周波数を確認してください。 ■ 現在の数値を、画面モードのタイミングチャートにある数値と比較してください。	画面モードについて P.24
画像が明るすぎる、または暗すぎる	■ 明るさとコントラストを調整してください。	画像の輪郭をはっきりさせる P.17 画像を明るくする (暗くする) P.17
水平方向にノイズが発生する	■ 微調整をしてください。	微調整 P.18
垂直方向にノイズが発生する	■ 粗調整を最初に調整し、その後微調整をしてください。	粗調整 P.18 微調整 P.18
画面に何も表示されず、電源ランプが緑色に点灯、または 1 秒毎に 電源ランプが点滅する。	■ 液晶モニターの節電機能(Power Saver)が作動しています。 ■ コンピューターのマウスを動かすか、キーボードのどれか 1 つキーを押してください。	節電機能(Power Saver) P.23

表3. 画像関連(続き)

症状	対処	参照先
画像が安定せずにゆれて見える	■ コンピューターかビデオボードの解像度と周波数が、液晶モニターの有効モードに設定されているかを 確認してください。 ■ 設定が正しくない場合は、コンピューターの画面設定をし直してください。	画面モード P.24 ビデオドライバーのインストールについて P.11
	注 意 ・ 次の周波数の範囲内でマルチスキャン・ディスプレイ機能をサポートしています。	
	■ 水平周波数 30 kHz ~ 81 kHz ■ 垂直周波数 56 Hz ~ 75 Hz ■ 最大リフレッシュ率： 1600X1200	
画面の中央に画像が来ない	■ 水平位置と垂直位置を確認してください。	画像を横軸方向に移動する P.18 画像を縦軸方向に移動する P.19
モニタードライバーソフトウェアが必要なとき	■ ドライバーを次のホームページからダウンロードしてください。	http://www.samsungelectronics.com

仕様

表4. 技術と環境仕様

		213T
パネル	サイズ 画面サイズ タイプ ピクセルピッチ 視野角度	21.3" 対角線 432 (H) x 324 (V) mm a-si TFTアクティブマトリクス 0.27(H) x 0.27(V)mm 170˚ /170˚ (左右/上下)
*周波数	水平走査 垂直走査 最大表示色	30 ～ 81 kHz 56 ～ 75 Hz 約1,677万色
画面解像度	推奨モード 最大モード	1600 x 1200/ 60Hz 1600 x 1200/ 60Hz
入力信号	入力同期 ビデオ信号	セパレート、 TTL、正/負極性 コンポジット、 TTL、正/負極性 シンクオングリーン 0.3 Vp-p、負極性 アナログ 0.7 Vp-p / 75Ω デジタル RGB
最大映像帯域幅		162MHz
電源	入力	90~264VAC、50/60Hz ±3Hz
消費電力	最大 節電モード パワースイッチオフ	75 W 2 W以下 0 W
寸法/重さ (W/H/D)	スタンド使用時 スタンド収納時 VESAマウントインターフェイス	473.4 x 458.1 x 220.3m m/8.5kg 473.4 x 374.0 x 58.8m m/6.5kg 100X100mm (アームタイプスタンド)
環境条件	動作温度範囲 動作湿度範囲 保管温度範囲 保管湿度範囲	10℃～40℃ 10%～80% 非凝縮 -20℃～45℃ 5%～95% 非凝縮

＊24ページ、「画面モード」参照。

■ピン配列

表5. D-sub 15ピンコネクター

ピン	セパレート	コンポジット	シンクオングリーン
1	赤	赤	赤
2	緑	緑	緑+コンポジットシンク
3	青	青	青
4	グラウンド	グラウンド	グラウンド
5	グラウンド(DDC リターン)	グラウンド(DDC リターン)	グラウンド(DDC リターン)
6	赤グラウンド	赤グラウンド	赤グラウンド
7	緑グラウンド	緑グラウンド	緑グラウンド
8	青グラウンド	青グラウンド	青グラウンド
9	接続なし	接続なし	未使用
10	グランドシンク セルフテスト	グランドシンク セルフテスト	グランドシンク セルフテスト
11	グラウンド	グラウンド	グラウンド
12	DDC_SDA	DDC_SDA	DDC_SDA
13	水平同期	コンポジットシンク	未使用
14	垂直同期	未使用	未使用
15	DDC_SCL	DDC_SCL	DDC_SCL

表6. DVI コネクター

Pin	Signal Assignment	Pin	Signal Assignment	Pin	Signal Assignment
1	T.M.D.S. Data2-	9	T.M.D.S. Data1-	17	T.M.D.S. Data0-
2	T.M.D.S. Data2+	10	T.M.D.S. Data1+	18	T.M.D.S. Data0+
3	T.M.D.S.Data2 Shield	11	T.M.D.S.Data1 Shield	19	T.M.D.S.Data0 Shield
4	No Connect	12	No Connect	20	No Connect
5	No Connect	13	No Connect	21	No Connect
6	DDC Clock	14	+5V Power	22	T.M.D.S.Clock Shield
7	DDC Data	15	Ground(for +5V,H Sync, V Sync)	23	T.M.D.S.Clock+
8	No Connect	16	Hto Plug Detect Data	24	T.M.D.S.Clock-

Natural Color213T 03.5.7 3:16 PM Page 1

Natural Color

Natural Color取扱説明書

Natural Colorソフトウェアでモニターの正確なカラープロファイルを作成することにより、モニター表示とプリンタ出力時の正確なカラーマッチング並びに、マルチモニター環境でのカラーマッチングを可能にします。詳しい使用方法は、以下をご参照下さい。

動作環境 ： Windows95®/98/Me/2000/XP
i386以上、2MB以上の空き領域、4MBRAM

目次

1．インストール方法

2．モニター調整方法

⑴ 機能説明

⑵ ▶ Monitor Initialization調整方法

⑶ ▶ Color Adjustment調整方法

⑷ ▶ Color Preference機能説明

3．プリンタカラー調整方法

⑴ 機能説明

▶ Test Print

▶ Color Adjustment

▶ Image Printing

1.インストール方法

下記にNatural Colorのインストール方法についてご案内致します.

注意 Natural Colorをインストール前に、起動中の他アプリケーションは終了させて下さい。

(1) CD-ROMドライブにNatural Colorインストールを挿入し起動させ、**Natural color**をクリックしてください。

ここをクリック

⑵ クリックすると、表示言語の選択画面が表示されますので英語(English)、韓国語(Korean)のどちらかを選択し**OK**をクリックして下さい。
※韓国語については、韓国語フォントファイルが必要です。

次項目以降は下記の通りにして下さい。

Next 〉 Yes 〉 Next 〉 Next

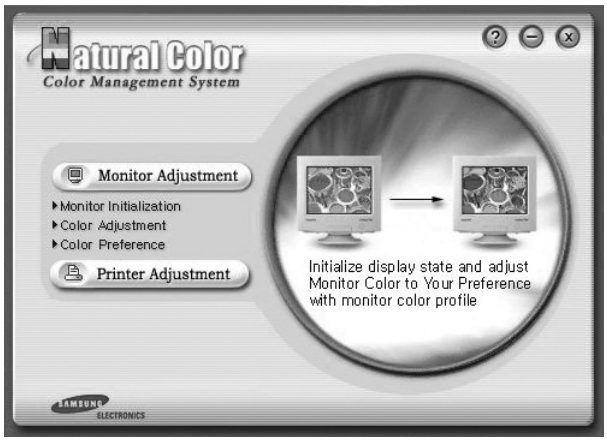
⑶ インストール終了後、Windows®再起動のメッセ ージが表示されますので、**OK**をクリックして再起動させてインストール終了です。

注意 再起動させる際には、他アプリケーションを起動させている場合には終了させてから再起動してください。

2.モニター調整方法

インストール後、デスクトップ上にNatural Colorのアイコンが表示されますのでクリックして頂くと下記メニュー画面が開きます。
以下に各機能について、簡単にご案内致します。

Natural Colorメニュー



(1) 機能説明

1. Monitor Adjustment

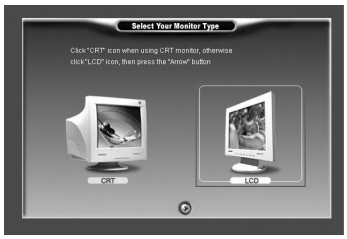
▶ **Monitor Initialization**
この調整機能では、ご使用のモニターの使用環境等を測定しモニターの初期設定を行います。

▶ **Color Adjustment**
ここでは、赤、緑、青の三原色についてのガンマ値を測定しカラープロファイルを作成します。

▶ **Color Preference**
ここでは、色々な画面モードに応じた調整モードを選択できます。
また、手動ガンマ設定モードでお好みの画面設定ができます。

※本アプリケーションを使用して正確な調整を行う場合には、電源投入後20分以上動作後に行ってください。

(2) ▶Monitor Initialization調整方法



Natural Colorメニューより
▶Monitor Initializationをクリックすると
左記の画面になります。

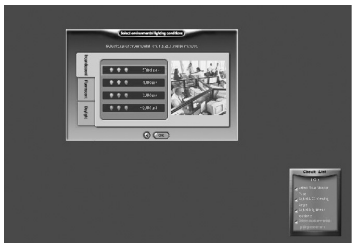
ここではLCDを選択して▶をクリックして
次の画面に進んでください。

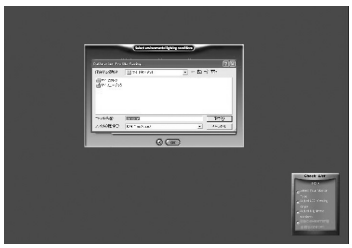
モニター画面が自分の正面を向くよう
画面位置・角度を調整してください。

コントラスト調整値を最小設定してから
画面下の外側の白枠と中の色が同じになる
ようコントラストを調整して下さい。
調整できたら、▶をクリックして次に進んで
ください。

モニターを使用している場所の照明、明る
さを選択して下さい。
選択後、OKをクリックして下さい。

- **Incandescent** = 室内照明が電球色
- **Fluorescent** = 室内照明が蛍光灯色
- **Daylight** = 照明なしで日光のみ





以上の設定状態をファイルで保存します。
お好きなファイル名をつけて保存してください。

以上で、モニター初期設定は終了です。

(3) ▶Color Adjustment調整方法(カラープロファイル作成)

ここでは、現在のモニターの状態を測定し、正確なカラープロファイルを作成します。
前項(Monitor Initialization)でモニターの明るさについてキャリブレーションを実行致しましたが、ここでは、カラーキャリブレーションを実行し正確なプロファイルを作成します。

機能説明

表示されている映像の内側の正方形がストライプの背景に溶け込むポイントを▼ ▲のボタンで調整します。

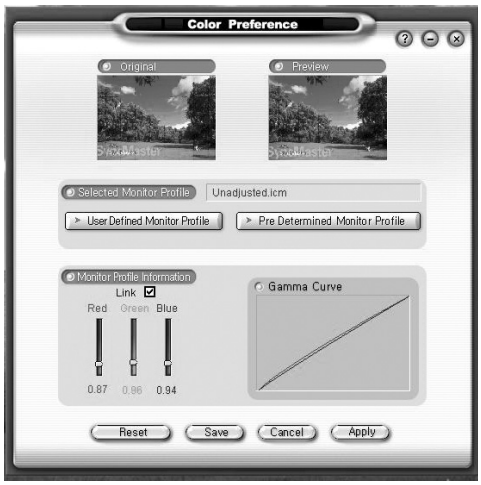
この際のポイントとして、画面と目の距離は約50cm離してください。
また、少し目を細めて見てください。

同様の調整をRed、Green、Blueでそれぞれ行ってください。

終了後、OKボタンをクリックするとファイル保存の窓が開きますので前項目(Monitor Initialization)で作成したプロファイルに上書き保存してください。

(4)▶Color Preference機能説明

ユーザープロファイルデータの選択（User Defined Monitor Profile)並びにPre Defined Monitor Profileでは、予め記憶された画面設定が選択できますのでご覧になる画面にあわせてお好みに選択してお楽しみください。



機能説明

User Defined Monitor Profile

ユーザー自身が作成したカラープロファイルを選択します。

Pre Defined Monitor Profile

11種のカラープロファイルからお好みの設定を選択できます。

Monitor Profile Information

赤、緑、青の各バーを上下させることにより、ガンマ値を変化させることができます。

Linkにチェックマークが入った設定では3色がリンクして設定を行います。
Linkのチェックを外すと各色それぞれに設定することができます。

Reset

この画面で調整した設定を元に戻します。

Save

調整した状態を保存します。Saveボタンをクリックすると、ファイル保存画面になりますので、ファイル名をつけて保存してください。

Cancel

この機能を終了します。

Apply

設定が適用されます。設定変更の確認メッセージが表示されますので15秒以内で決定してください。

3. プリンターカラー調整方法(Printer Adjustment)

ここでは、モニターで表示された画像とカラープリンターの色を合わせて出力させるプログラムです。
下記Natural Colorメニューより Printer Adjustmentを選択して調整を実行してください。

Natural Colorメニュー

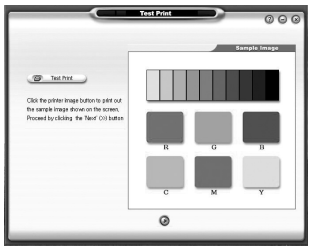
Natural Color
Color Management System
Monitor Adjustment
Printer Adjustment
Test Print
Color Adjustment
Image Printing
Optimize Printer Colors and Generate a Printer Color Profile, Print Out via 'Natural Color' ('What You See' Is What You Get' Color) Using Your Printer Color Profile

(1) 機能・操作説明

▶ **Test Print**

画面上のイメージ画像をTest Printします。

① Test Printボタンをクリックして画面上のイメージ画像をプリントアウトしてください。



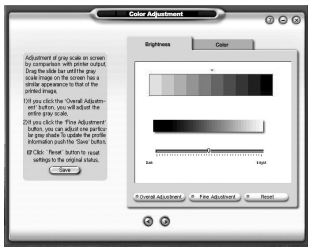
▶ **Color Adjustment**

1) Brightness Adjustment

Test Printで出力したグレースケールイメージと画面上のグレースケールイメージの明るさを合わせます。

① まず最初にOverall AdjustmentにてTest printでプリントアウトしたイメージのうちグレースケール部分についてプリントアウトと比較してだいたいの明るさを合わせます。

② 次にFine Adjustmentで10段階の各段階ごとに明るさの調整を行ってください。



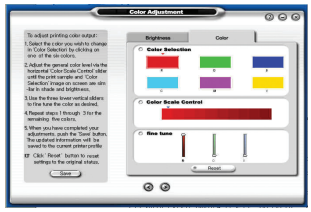
2) Color Adjustment

Color Adjustmentタグをクリックしてカラーの調整方法をご案内します。ここでは、Test print の6色のカラー部分について画面表示の色とプリントアウトの色を合わせて行きます。

① 6色のうち1色を選んで、最初に**Color Scale Control**でそのカラーに一番近い色合いを選択して下さい。

② 次に**Fine Tune**を選択し、R,G,B各色のスライドバーを調整し色合いを合わせてください。
各6色について同様の調整を実施して下さい。

③ 調整後Test Printを何度か実行してプリントアウトの色と画像の色合わをしてください。



3) Save

色合いが合いましたら**Save**ボタンをクリックしてお好みのファイルネームを付けて保存して下さい。

▶ Image Printing

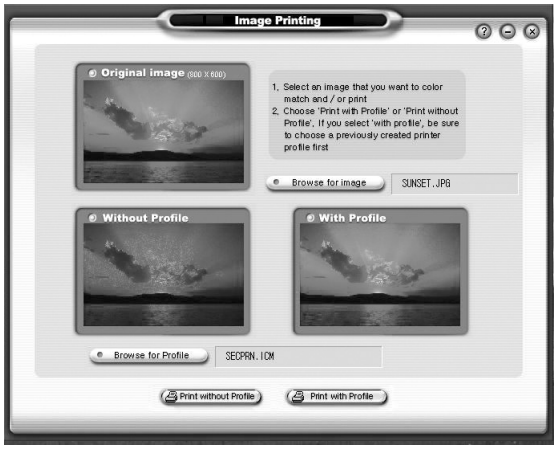


Image Printing
Original image (800 X 600)
1. Select an image that you want to color match and / or print
2. Choose 'Print with Profile' or 'Print without Profile'. If you select 'with profile', be sure to choose a previously created printer profile first
Browse for image
SUNSET.JPG
Without Profile
With Profile
Browse for Profile
SECPRN.ICM
Print without Profile
Print with Profile

(1) ここでは ▶Color Adjustment項で作成したカラープロファイルデータでのプリントイメージ(with Profile)とカラープロファイルを使わずプリントアウトしたイメージ(without Profile)をオリジナル画像と比較することができます。

① まず Browse for Image をクリックして、印刷したい画像を選択します。

→ Original Imageに選択された画像が表示されます。

② Browse for Profileをクリックし、前項で作成したプリンタプロファイルデータを選択します。

→ without Profile、with Profile各欄にプロファイルデータにより補正されたイメージ画像(with Profile)並びに補正しない場合の印刷イメージ(without Profile)が表示されます。
Original Imageとwith Profileの画像を比較して色合い、明るさ等同様であればモニター上の表示と同様に印刷されるでしょう。

213T-Appendix-00 03.5.7 3:13 PM Page 33

アフターサービス

サムスンの製品は、全国どこでもアフターサービスが受けられます。
修理などアフターサービスについてのお問い合わせは、「お客様ご相談ダイヤル」にご相談ください。

■日本サムスン株式会社

●お客様ご相談ダイヤル

0120-363-905

受付時間　平日　9:00~18:00
　　土日祭日 9:00~12:00　13:00~17:00
FAX　03-5641-9883
E-mail　cyber@samsung.co.jp
ホームページ　http://www.samsung.co.jp

●本社

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1浜町センタービル
TEL　(03) 5641-9036
FAX　(03) 5641-9861
受付時間　平日 (土日祭日を除く) 9:00~17:00

●東京サービスセンター

〒 136-0072 東京都江東区大島2-32-8
TEL　(03) 3683-0364
FAX　(03) 3683-0381
受付時間　平日 (土日祭日を除く) 9:00~17:30

索引

A

Auto.....7、10
D-sub 15ピン信号ケーブル.....6
D-sub 15ピンコネクター.....29
DVI ケーブル.....6
DVI コネクター.....32
Exit(終了).....7
GAMMA特性.....20
Natural Color.....33
OSDについて.....14
　自動保存機能.....15
　設定固定/解除.....15
OSDの設定.....21
　OSDの背景の変更.....21
　OSDの表示位置の変更.....21
　OSDの表示言語の変更.....20
　OSDの表示時間の変更.....21
　OSDのメニューのアイコンカラの
　変更.....21
ー,+ ボタン.....7
Source.....7
PIVOT インストール.....6
PIVOT スターンド.....26
VESA Mount.....26

あ

安全にご使用していただくために.....2
液晶モニターの調整/設定.....16
　明るさの変更.....17
　コントラストの変更.....17
アフターサービス.....41

か

画像の調整.....18
　色の自動調整.....19
　色の手動調整.....20
　色設定のリセット.....20
　粗調整.....18
　縦軸移動.....19
　微調整.....18
　横軸移動.....18
　画質選択.....19
画面モード.....24
困ったときは.....27

さ

セットアップ.....9
節電機能(Power Saver).....23
ソース選択.....22

た

電源(Power) ボタン/電源ランプ.....7

は

フロントパネル.....7

ま〜ら

メニュー (Menu)ボタン.....7
モニタードライバの インストール.....11

213T-cover-00 03.5.7 2:40 PM Page A

"As an ENERGYSTAR® Partner, SAMSUNG has determined that this product meets the ENERGYSTAR® guidelines for energy efficiency."

Printed on recyclable paper

BN68-00414E-00